

「宇都宮市花と緑のまちづくり推進協議会」研修会

2011年2月11日

# 花・緑・ひとが育む地域の“わ” ～これからの活動に向けて～

## ■本日の講演内容（3つの話題提供）

1. 小さな庭が交流を生む ～コミュニティガーデンの試み～
2. 地域に広げる花と緑のネットワーク ～場所をつなぐ・人をつなぐ～
3. 市民が育てる花と緑の担い手 ～花と緑のまちづくりへの展開～

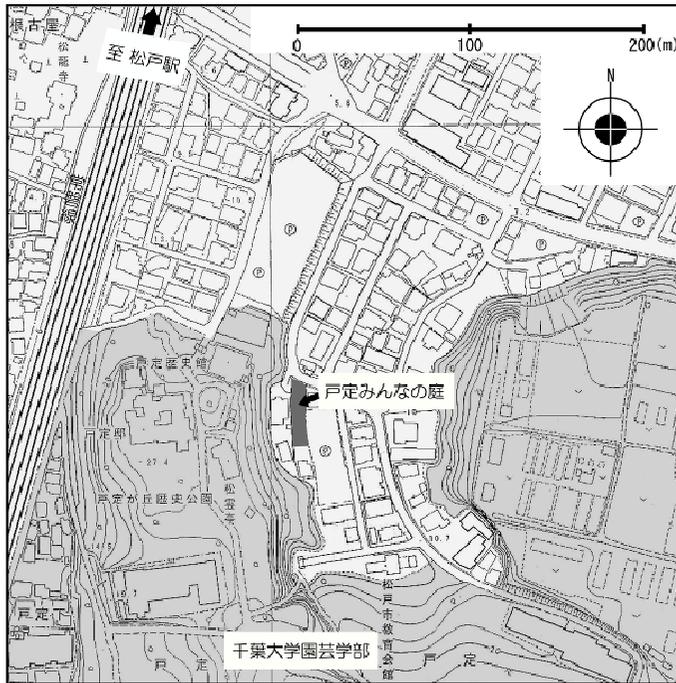
千葉大学大学院園芸学研究科

柳 井 重 人

小さな庭が人々をつなぐ  
～コミュニティガーデンの試み～

---

# コミュニティガーデン「戸定みんなの庭の会」の活動



## ■「戸定みんなの庭の会」の経緯と特長

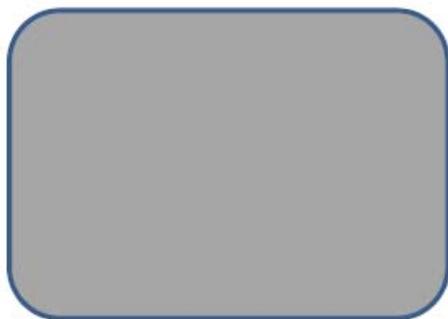
- 市有地(未利用地)の活用
- 地域住民・子ども, 大学生, 大学教員が主体。
- 地域の緑化推進および環境美化への貢献(例: 松戸駅・園芸学部間の沿道の緑化推進への展開)
- 大学を含む地域交流の実践とコミュニティ形成(例: 交流会・イベントなど)
- 子どもたちへの環境教育の実践(例: 地域からの要望が多い食育の要素を含めた庭づくりの実践と関連活動など)
- 循環型社会・高齢社会への対応(例: リサイクル, ユニバーサルデザインなど)
- 地域住民, 行政, 企業, 大学等のパートナーシップによる活動の推進(例: 地域緑化団体への登録, 多様な主体との連携・ネットワーク形成など)

# コミュニティガーデン「戸定みんなの庭の会」の活動

## ■コミュニティ・ガーデン

活動イメージ

**放置された土地**  
やぶ、ごみ、暗い



**楽しみながらの手入れ**  
きれい、ふれあい、学び



**地域の宝物**  
みんなで大切に



戸定みんなの庭(松戸市松戸)

# コミュニティガーデン「戸定みんなの庭の会」の活動

活動経緯①

## ■まちづくりに向けて

### コミュニティガーデン:松戸市「戸定みんなの庭の会」の取り組み



歩こう会で庭を見て歩く



歩いた後の感想を発表



ワークショップの実施



庭づくりはじまる



交渉難航・紆余曲折



空き地(市所有地)に着目



# コミュニティガーデン「戸定みんなの庭の会」の活動

## 活動経緯②



雨水をためる水路づくり



子どもたちも参加して作業  
(小学校・子ども会)



バーベキュー  
花壇の柵づくりをかねて



駅・大学・戸定邸をつなぐ  
「緑と花の回廊づくり」  
に向けて検討中



椅子の設置  
(企業からのサポート)



チップの敷きならし  
(大学から調達)

- 1. 人々の心を癒し潤いを与えてくれる**  
誰もが利用できる「都会の中の緑のオアシス」の機能があります。
- 2. 出会いと会話の機会を生み出してくれる**  
さまざまな人が様々な目的をもって集う「たまり場」になります。
- 3. 近隣の景観・美観を向上させる**  
新鮮な空気や緑陰を生み出し土地の資産価値も向上します。
- 4. 多くの人に学びの大切さを教えてくれる**  
社会的弱者には職業訓練、高齢者には庭づくりによる生きがい、子どもには自然・環境学習の機会となり、まさに「緑の学校」です。
- 5. 地球環境や都市環境に貢献してくれる**  
生態系の維持保全・都市の温暖化軽減・コンポストによる循環型社会の形成など、その社会的役割には大きなものがあります。

## コミュニティガーデンの魅力・意義

6. **暮らしの豊かさを提供してくれる**  
みずから花や野菜を育てることで、育てる楽しみ・収穫する楽しみ・食べる楽しみを暮らしのなかで体験できます。
7. **人々に地域愛を呼び起こしてくれる**  
共有の庭づくりを通じて、地域への思いやりや街への誇りが醸成されます。
8. **最小経費で最大利益を生み出してくれる**  
ボランティアによるヒトと、その労働による生産物としての植物・野菜・土壌・肥料、そして寄付されるモノなどにより、地域社会に大きな社会的利益をもたらします。
9. **防災拠点や生存の場としての役割をもっている**  
災害時には避難所としてだけでなく、近隣の助け合いを支援する情報交流の拠点にもなりうるのです。
10. **緑のまちづくりへと発展する可能性を秘めている**  
単なるひとつの地域の庭から、より広い地域へと広がれば、誰もが参加できる緑のまちづくりへと発展していきます。

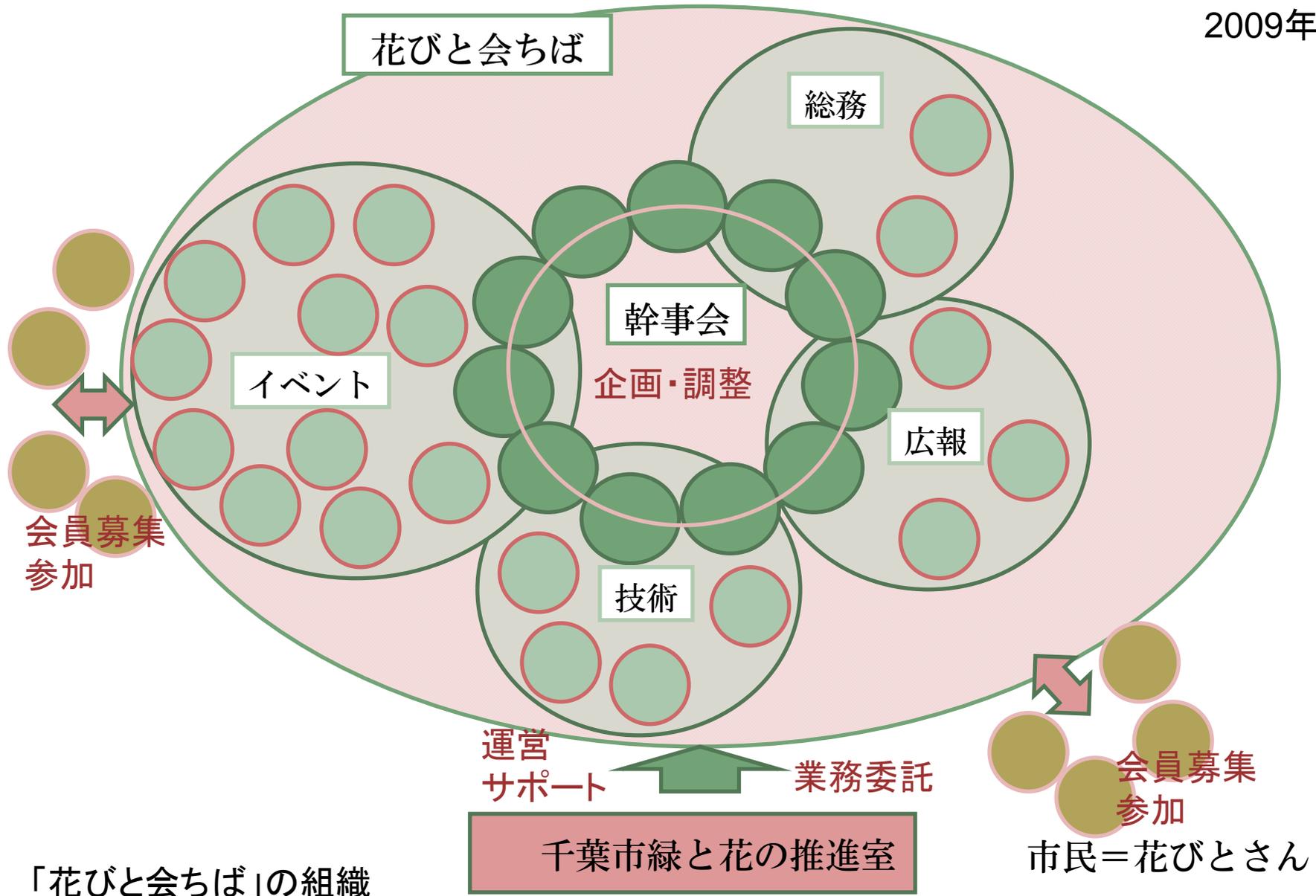
※越川秀治(2002):コミュニティガーデン-市民が進める緑のまちづくり-, 学芸出版社. より抜粋

地域に広げる花と緑のネットワーク  
～場所をつなぐ・人をつなぐ～

---

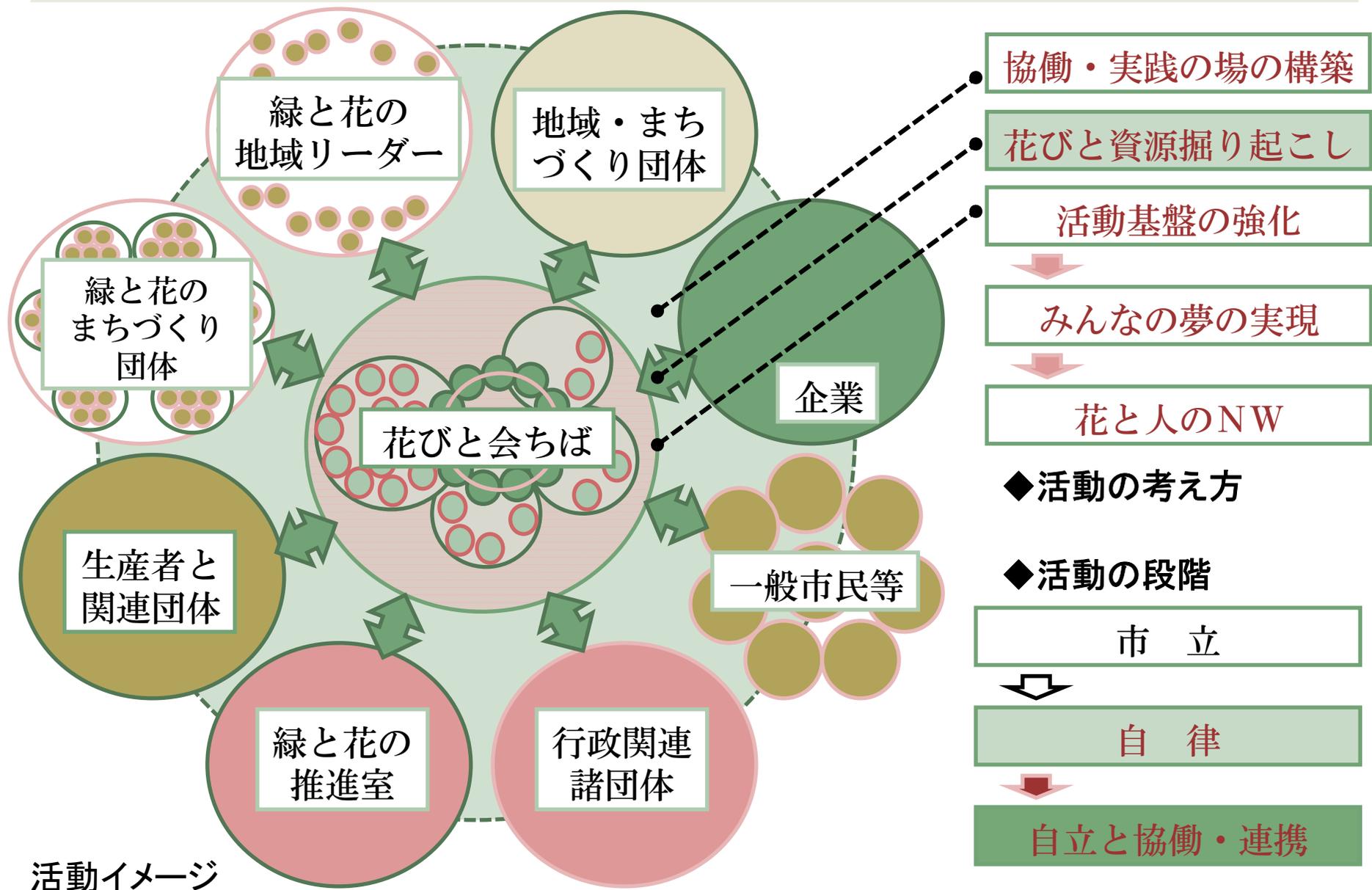
# 花と緑のネットワーク「花びと会ちば」の活動

2009年度



「花びと会ちば」の組織

# 花と緑のネットワーク「花びと会ちば」の活動



活動イメージ

# 花と緑のネットワーク「花びと会ちば」の活動

## 設立当時に提案された活動

2005～2006年度

### ◆さっそくプロジェクト

- ・ 地域リーダー・団体発表会
- ・ 花の情報センター
- ・ 花のフリーマーケット
- ・ ちはなちゃんプロジェクト
- ・ 資源探しツアー
- ・ 花びと通信の発行
- ・ 小学校で花の授業

### ◆ゆっくりプロジェクト

- ・ 未利用地お花畑化計画
- ・ 花のまちづくりプラン提案競技
- ・ 環境配慮型ガーデニングの普及

### その1. 花のイベント参加PJ

- ・ 地域リーダー・市民団体・生産者の発表会や交流会
- ・ ちはなちゃんグッズの宣伝
- ・ ブースでの情報提供
- ・ こどもたち向けの企画
- ・ その他

### その2. 花の資源探し&表彰PJ

- ・ 花・人の資源の掘り起こし(市民公募)
- ・ 花めぐりツアーの実施
- ・ マップづくりへの展開
- ・ 花びとさんの表彰
- ・ その他

### その3. 花びと通信の発行

# 花と緑のネットワーク「花びと会ちば」の活動

## 2009年度の活動

- 4月：総会
- 5月：みどりと花の催し  
オープンガーデンツアー  
花びと通信の発行（第6号）
- 7月：オオガハス観察会
- 9月：花びと会園芸講習会（1回目）
- 10月：みどりと水辺のつどい  
第1回幹事会  
花びと会園芸講習会（2回目）  
花びと会園芸講習会（3回目）
- 12月：第2回幹事会  
講演会
- 3月：第3回幹事会  
：2010日本フラワー&ガーデンショウ



## 花びと会ちばの活動



花びと通信 第2号より

2007年4月28日・2007年10月13日に実施

個人のお庭、学校、公園、花壇など千葉市の花の名所をめぐるのが「オープンガーデンツアー」です。このイベントを通して、地域の方々の花に対する熱意、美しいまちづくりへの愛情を知ることができました。また、他の地域を見ることが参加者も新たな意欲が生まれました。このツアーでは訪れた場所ごとに管理をされている方々が詳しく説明して下さいます。説明を受けることで花の知識だけでなく、地域や団体等の花づくりの取組み方を知ることができます。

# 多様なガーデンとネットワーク化

## 様々なガーデン

(→個人庭+花壇づくり団体の庭+公園など)

### 市民に共有される様々なガーデン(パブリックオープンスペース)

#### 公有地



都市公園  
駅前広場  
河川敷  
その他

コミュニティ・ガーデン  
花壇づくり(公有地)  
学校の校庭開放  
その他

#### 民有地

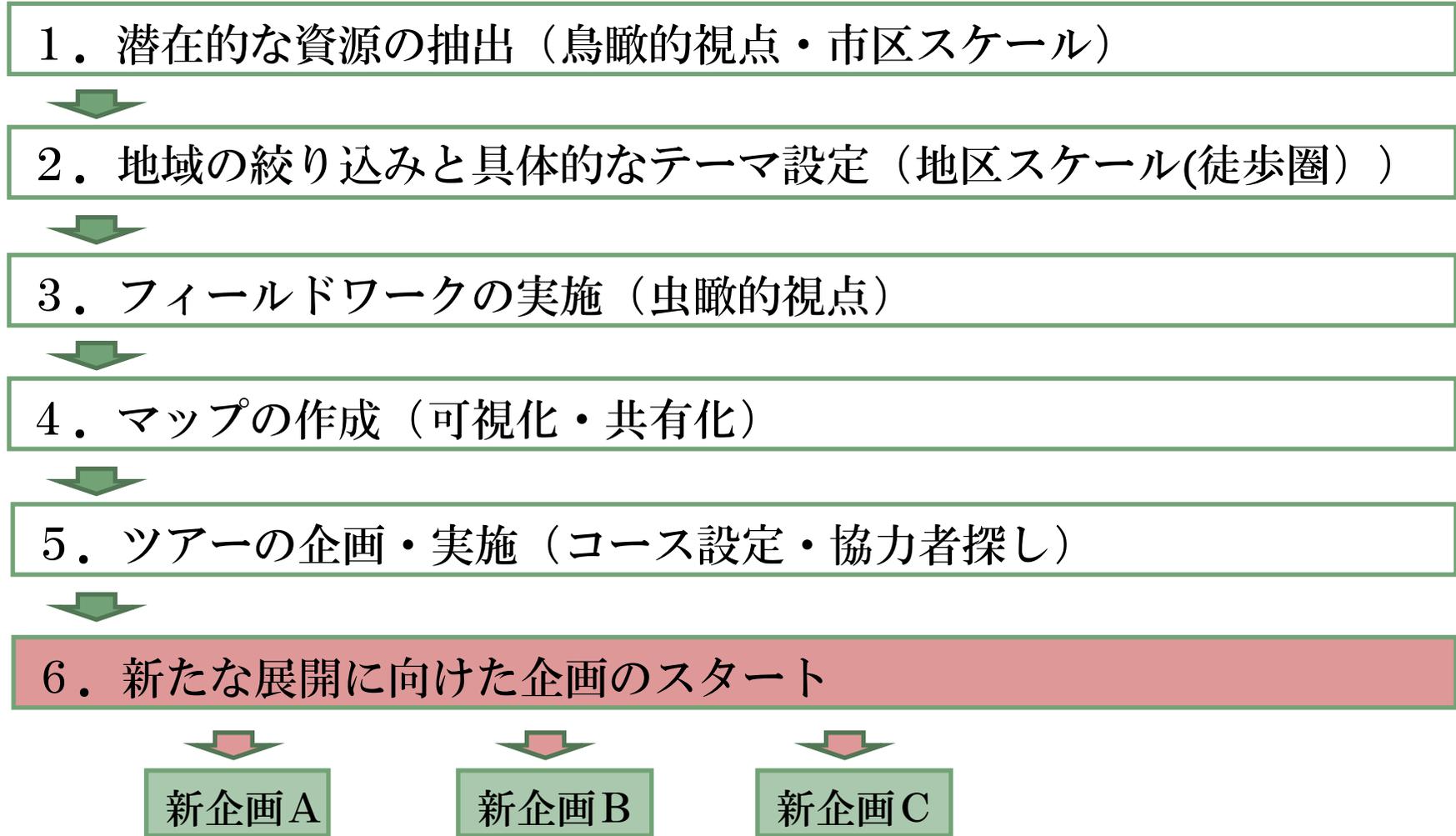


公開空地  
オープンガーデン(個人庭)  
開放された樹林地  
市民農園

個人の庭  
民有の樹林地  
民有の農地  
その他

# 花びと資源の掘り起こしと参加型活動への展開

## 花びと資源の掘り起こしのプロセス



# 日本各地での多様な展開

## ■ 日本各地のオープンガーデン



長野県小布施町



北海道恵庭市



埼玉県深谷市

## ■ オープンガーデン・フェスタ(深谷市)



生産者との連携



芸術分野との連携



都市公園の活用

市民が育てる花と緑の担い手  
～花と緑のまちづくりへの展開～

---

# 市民が育てる担い手「松戸里やまボランティア講座」とその展開

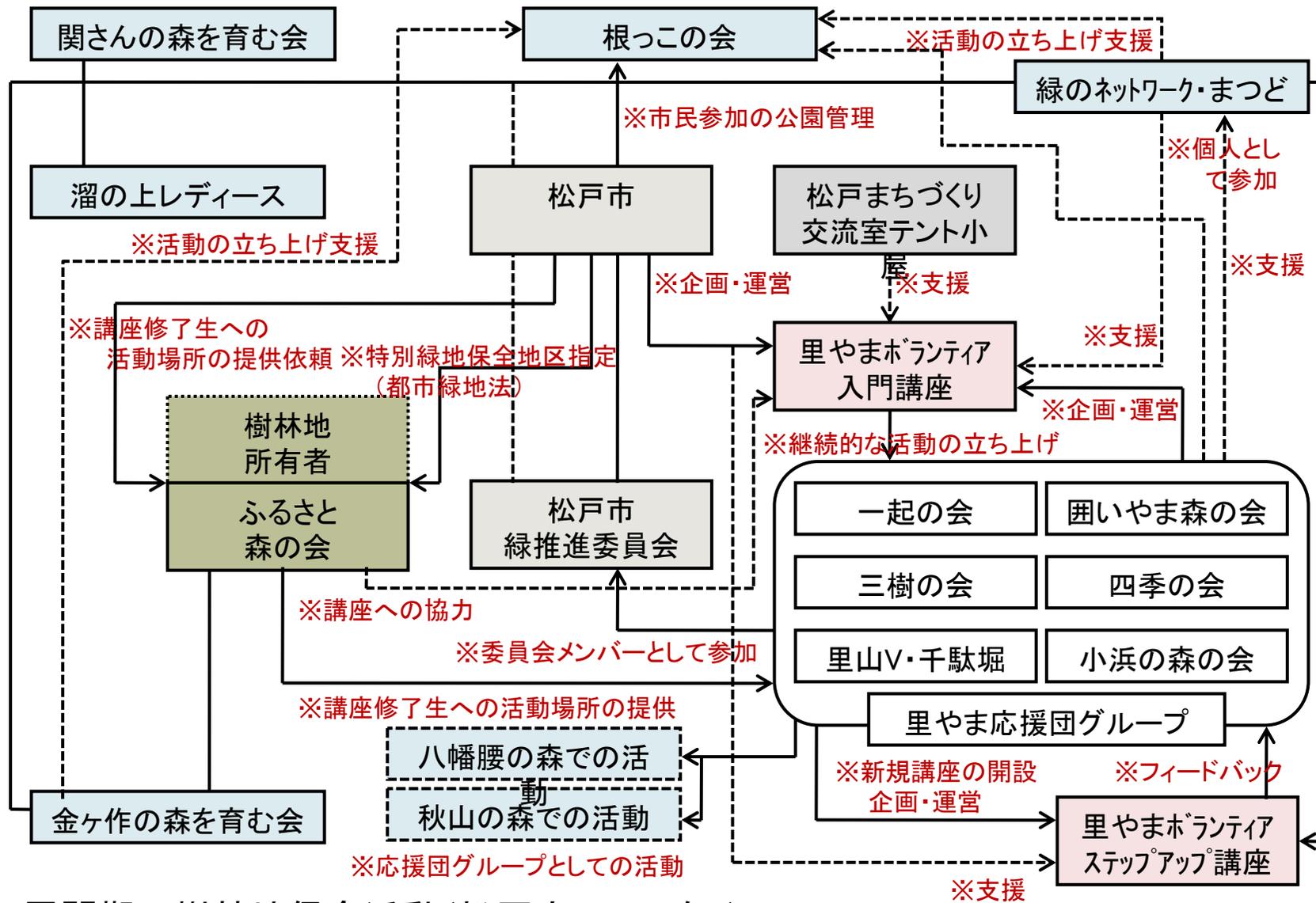


図 展開期の樹林地保全活動(松戸市:2006年-)

## ■里山ボランティア入門講座の内容（2010）

### 第1回目

里山って何だろう（森林インストラクター）

松戸の緑の現状と将来（松戸市みどりと花の課・職員）

### 第2回目

都市の緑の役割（千葉大学大学院園芸学研究科・教員）

森での安全な作業と道具（「一起の会」メンバー）

### 第3回目

都市樹林が抱える問題（関さんの森を育む会・松戸さとやま応援団）

グループワーク

### 第4回目

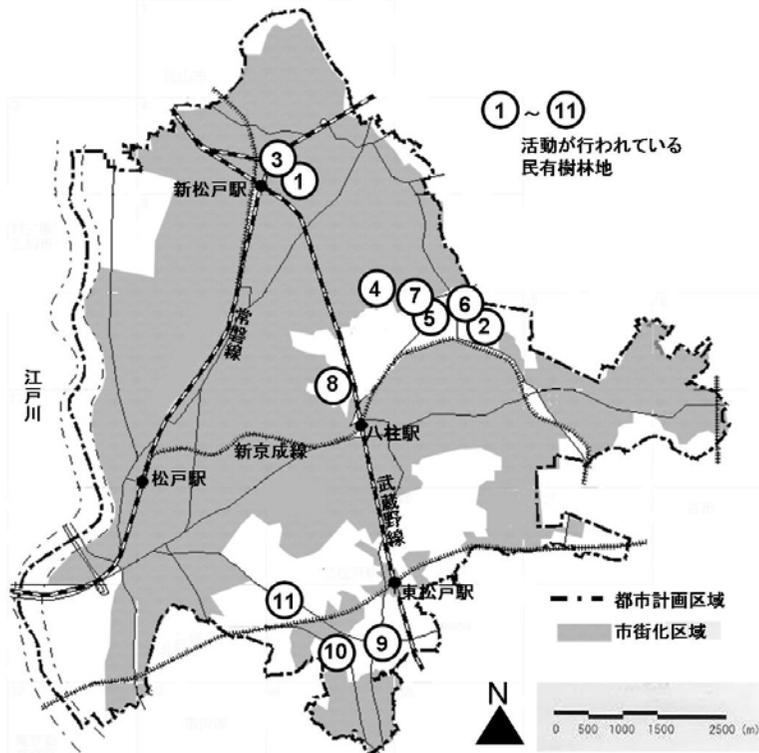
森の手入れ体験とお楽しみ（三樹の会・金ヶ作の森を育む会）

### 第5回目

まとめと交流（松戸ふるさと森の会・松戸里やま応援団）

グループワーク

# 市民が育てる担い手「松戸里やまボランティア講座」とその展開



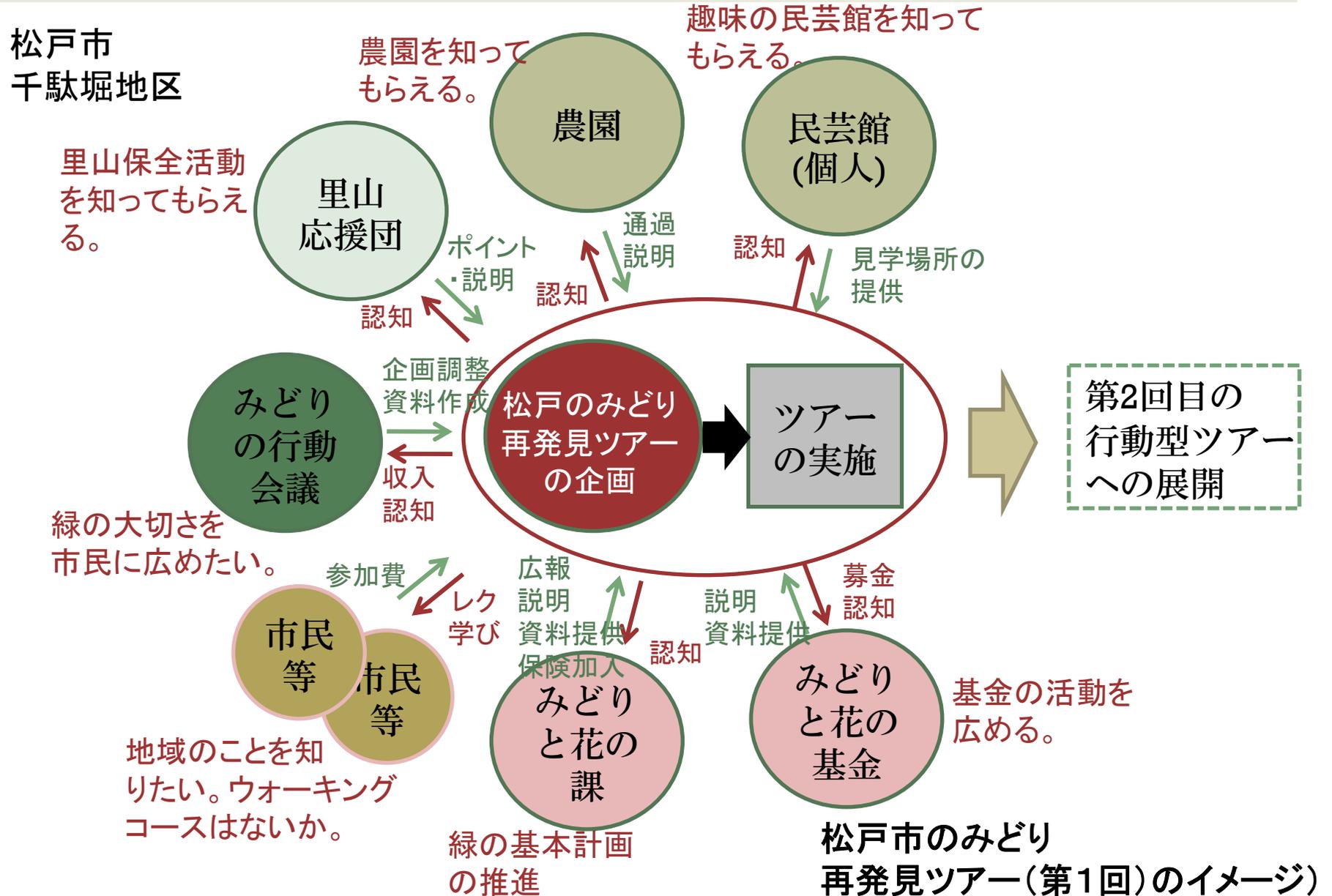
10団体が12箇所10haの森を管理。



## ■松戸里やまボランティア講座の特長

- 既設の里山保全の市民団体を中心に講座を企画。
- 市民団体，専門家，土地所有者，行政担当者など，異なる立場の講師を選定。
- 座学に現地実習を組み合わせる構成。
- 里山保全に係わる技術のみならず，里山保全の現状や課題，行政施策，市民団体の運営等に関する学習も包含。
- グループワークを取り入れてディスカッションを実現。
- お楽しみ会や懇親会など交流を深める仕掛け。
- 講座修了後に，講座修了生が市民団体を設立。
- 行政が活動フィールドを仲介。
- 市民団体としてのスタートアップ時に，既設団体がサポート。
- 活動を継続する中で，「緑推進委員会」，「緑の行動会議」等に参加。知識・技術を向上させつつ人的交流を図り，新たな試みにチャレンジ。

# 市民が育てる担い手「松戸里やまボランティア講座」とその展開



# 市民が育てる担い手「松戸里やまボランティア講座」とその展開

**第1回 オープンフォレストin松戸**

## おいでよ！松戸の森へ

**松戸里やま週間**

**2011年5月14日(土)～5月22日(日)**

■関連イベント

日時	イベント	会場
5/14(土) 午前	オープニング式典	21世紀の森と広場 2階シアター
5/14(土) 午後	森のガイドツアー	21世紀の森と広場 パークセンター集合
5/14(土)～22日(日)	パネル展示	21世紀の森と広場 パークセンター展示場
5/14(土)～15日(日)	森の一斉公開	下記の森
5/16(月)～22日(日)	それぞれの森の公開	活動団体により公開日を検討中

■公開する森(予定)

八ヶ崎の森、團いやまの森、三吉の森、立切の森、ホダシの森、しんやまの森、小浜屋敷の森、紙敷石みやの森、秋山の森、関さんの森、瀬ノ上の森、金ヶ作の森、根本内歴史公園

美しい森の緑は遠くから眺めるときも、近くを通る時にも、心を癒してくれます。

私たちのまち松戸にも、持ち主の想いと、ボランティアの汗と、行政の協力によって守られている森があります。

普段は入ることのできない森が多いのですが、この機会に多くの市民の皆さまに、森を訪ね、森の中に入って、森の風、森の光、森の香りを感じていただけたなら・・・と考えています。

都市に残された貴重な森を未来の子供達に引き継ぐために、何ができるかを考えるきっかけとなることを願っています。





主催：実行委員会

後援：松戸市、(財)松戸みどりと花の基金、松戸まちづくり交流室・テント小屋、松戸市緑推進委員会



## ■オープンフォレストin松戸の特長

- 民有の樹林地を公開(土地所有者と市民団体との信頼関係)
- 各々の森での特長ある活動(音楽会, クラフト, 子どもの遊びなど)
- 再発見ツアーの成果の活用(一斉公開日にあわせたツアーの実施)
- 実行委員会の組織構成(市民団体, 土地所有者, 行政, 基金)
- 収入の確保(協賛金・募金で対応→課題)
- まちづくりとのリンク(商店会の一店一品運動とのリンク ほか)
- その他

# 花と緑を核としたまちづくりへの展開

